

イ 地理的分布

対象69局における2019-2021年度の新指標値の地理的分布を図2-5-9に示した。新指標値が0.075ppm以上の地点は、県北西部及び東京湾側に多く見られる傾向にあった。一方、0.075ppm未満の地点は太平洋側に多く見られる傾向にあった。

図2-5-9 新指標値の地理的分布

ウ 指標値等の経年推移

新指標値(平均値、最高値、最低値)、時間達成率、Ox年平均値、Ox日最高値0.120ppm以上日数の3年平均値(対象局平均)の推移を図2-5-10に示した(新指標値以外は昼間(5時~20時)の値)。新指標値は、平均値、最高値、最低値いずれも1994-1996年度から2003-2005年度にかけて上昇し、最高値、平均値は2003-2005年度が、最低値は2002-2004年度が最も高い値を示した。その後、2006-2008年度頃まで低下傾向を示し、その後はほぼ横ばいか緩やかに上昇した。時間達成率は、新指標値とは逆の動きを示し、新指標値が高い値を示した2003-2005年度が最も低く92%以下となった。Ox日最高値0.120ppm以上日数は新指標値と類似した動きを示したが、Ox年平均値は変動はあるものの上昇傾向にあり、その動きは新指標値とは異なった。

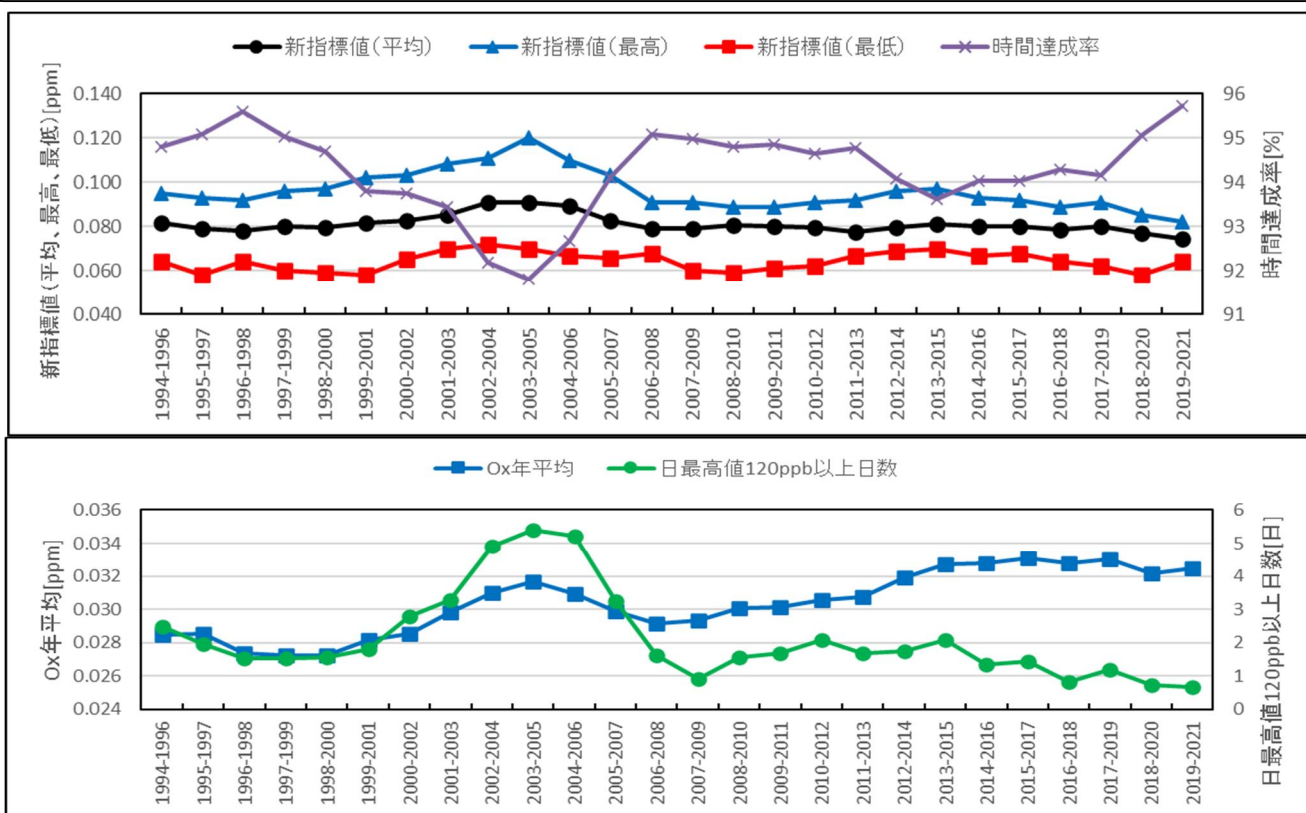


図2-5-10 新指標値及びOx年平均値、日最高値0.120ppm以上日数の推移

エ 新指標値及び他の指標間の相関関係について

新指標値の平均値と他の指標間の相関係数を表2-5-7に示した。新指標値とOx日最高値0.12ppm以上日数には正の相関、新指標値と時間達成率は負の相関があるといえる。

一方、新指標値とOx年平均値には相関関係はほとんどなかった。

表2-5-7 新指標値(平均値)と他の指標の相関係数 (年平均を除き、いずれも1%有意)

項目	時間達成率	Ox日最高値0.12ppm以上日数	Ox年平均
相関係数	-0.913	0.954	0.004

オ 新指標値の上位局、下位局

新指標値の上位3局を表2-5-8に、下位3局を表2-5-9に示した。上位局については、5期連続で野田桐ヶ作局、野田市野田局が2位以内となった。下位局については、浦安猫実局、松戸根本局及び松戸五香局が5年連続で3位以内に入っていた。上位局、下位局ともに、新指標値は低下傾向にある。

表2-5-8 新指標値上位3位

(ppm)

	2015-2017年度		2016-2018年度		2017-2019年度		2018-2020年度		2019-2021年度	
	局名	新指標値	局名	新指標値	局名	新指標値	局名	新指標値	局名	新指標値
1	野田桐ヶ作	0.093	野田桐ヶ作	0.089	野田桐ヶ作	0.091	野田市野田	0.085	野田桐ヶ作 野田市野田	0.082
2	野田市野田	0.091	野田市野田	0.088	野田市野田	0.089	野田桐ヶ作	0.084	市川本八幡 市川行徳駅前 市原五井	0.081
3	我孫子湖北台	0.089	大宮小学校	0.087	流山平和台	0.087	流山平和台 柏永楽台	0.083	船橋印内 習志野鷺沼 白井七次台	0.080

表2-5-9 新指標値下位3位

(ppm)

	2015-2017年度		2016-2018年度		2017-2019年度		2018-2020年度		2019-2021年度	
	局名	新指標値	局名	新指標値	局名	新指標値	局名	新指標値	局名	新指標値
1	浦安猫実	0.069	松戸五香	0.064	松戸ニツ木	0.062	松戸ニツ木	0.058	松戸五香 松戸ニツ木	0.064
2	松戸根本	0.071	浦安猫実	0.068	松戸五香	0.064	松戸五香	0.064	松戸根本 浦安猫実	0.066
3	松戸五香	0.072	松戸根本	0.069	松戸根本 浦安猫実	0.071	松戸根本 浦安猫実	0.069	木更津畑沢 香取大倉	0.068